

概要

summary

場所打ち舗装は、新設工事や閉鎖可能な工事現場における大規模工事に適しています。路盤修正後、現地にて型枠組立、シース、PC鋼材の配置、鉄筋の組立を行い、コンクリートを打設して、所定の強度に達したのを確認してポストテンション方式で緊張力を導入します。

荷物や乗客が乗降する空港エプロン部、港湾におけるコンテナヤードやトランスファークレーン走行部などの厳しい荷重条件箇所に適用されています。



関西国際空港エプロン



東京国際空港エプロン



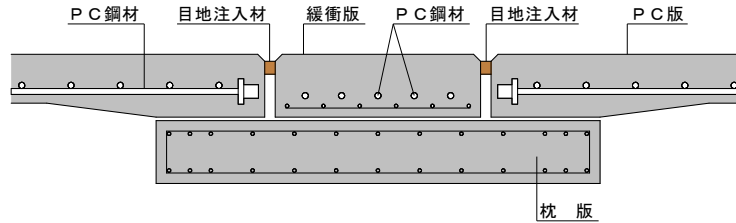
東京都江東区青海埠頭

特長

- **構造特性** プレストレス導入により、重荷重に対するひび割れ抵抗性・たわみ追随性が高い、耐久性に優れた舗装です。
- **復旧性** リフトアップ工法適用により、不等沈下に対して復旧が可能です。
- **利便性** 目地間隔を広くできるため、車両走行性に優れます。
- **経済性** 特に大規模工事において優位性があります

technology

PC版舗装は、延長が長い場合、PC版の伸縮を吸収するための目地と、連続性を確保するための緩衝版を設置します。また、目地部のPC版端部下面には枕板を設置し、PC版端部の不等沈下を防ぐことで、段差を防ぎ、車両の走行性能が向上します。



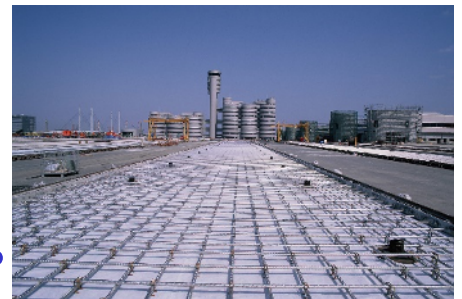
施工

execution

場所打ちPC舗装



型枠組立



シート敷設



シース設置



PC鋼材挿入



コンクリート打設・養生

緊張工



グラウト工

緩衝版工

完成

